

平成29年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択】新課題講習3

クラスCD	ハ-403	開講日	12月23日(土)
対象職種	教諭・養護教諭・栄養教諭		
講習科目名	「今、ここ」から学ぶカウンセリング	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	正保 春彦(しょうぼ はるひこ)	所 属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	全教員	担当時間	6
講習内容	<p>カウンセリングにおいて重要な「今、ここ」の感覚を中心に体験的な演習と講義を行います。従来、実感を持って学ぶことが難しかった「今、ここ」の感覚について、即興の技法に基づいて新たに開発されたワークやゲームを中心とした体験法により、単なる講義やロールプレイとは違った形で学ぶことができます。また「エクステンド・アドバンス」の概念を新たに導入し、新しい援助関係のあり方についても提案します。既にカウンセリングについて一定の理解と技能を有する方にとっても、新たな視点でカウンセリングを見直すヒントとなります。</p>		
到達目標	<p>・相手の視点に立って、「今、ここ」に即して、他者の話を聞くことの意義を理解し、支援できるようになる。</p>		
受講者への 事前連絡事項	<p>・動きやすい服装でご参加下さい(スカート・ハイヒール等不可)。</p>		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択】新課題講習5

※この講習を受講する方は ハ-105 を受講することができません。

クラスCD	ハ-405	開講日	12月23日(土)
対象職種	教諭・養護教諭・栄養教諭		
講習科目名	現代子ども論	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	生越 達(おごせ とおる)	所属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	全教員	担当時間	6
講習内容	<p>『現代子ども論Ⅰ～現代社会と心の育ち』では、なぜ現代の子どもたちが変わったように見えるのか、社会の変化を理解することを通して、子どもたちの問題行動のなかに隠された意味を考えていきたい。『現代子ども論Ⅱ～子どもたちをどう理解するか』では、子どもたちをどのように理解したらよいのか、具体的な事例を取り上げながら考える。子どもや保護者と向き合う際の態度やスタイルを形成することを目指す。</p> <p>(1) 教師にとっての共感性とは何か：社会化と共感の狭間を生きる教師 (2) 近代社会を支えてきた教師から自由になれるか (3) 存在の不安を抱える子どもたち：教師批判やリストカットから見える子どもの自己 (4) 子ども理解のスタイルを学ぶ：子どもを理解する際の盲点について知る (5) 他者とかかわることが不安な子どもたち：傷つきやすい子どもたち (6) 現代のいじめの特徴：いじめの背後にある同調性 (7) 自己形成の困難な子どもたち：子どもたちの関係確認と多元的自己 (8) 保護者理解の難しさ (9) 認定試験：講義した内容を確認する。</p>		
到達目標	<p>(1) 近代社会を支えてきた教師の役割を知ると同時に、その役割を相対化する眼差しを身につける。 (2) 子どもたちの問題行動の裏側に隠された意味を知り、またその意味を捉える子ども理解のスタイルを身につける。 (3) 子どもたちの具体的な行動を理解できるようになる。 (4) 事例を理解することにより、子どもたちや保護者と向き合う態度やスタイルを形成する。</p>		
受講者への事前連絡事項	適宜プリントを配布します。一部演習方式の授業を含みます。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択】新課題講習15

クラスCD	ハ-415	開講日	12月23日(土)
対象職種	教諭・養護教諭・栄養教諭		
講習科目名	発達障害の二次障害に対する理解と支援	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	矢嶋 敬紘 (やじま たかひろ)	所属	全学教育機構
主な受講対象者	全教員	担当時間	6
講習内容	<p>発達障害の二次障害に対する理解を深めるとともに、具体的な支援の実際について説明していく。 特に、通常の学級に在籍する発達障害が疑われる児童・生徒に対する支援について、二次障害予防の観点からの解説や、支援に関わる学内外組織との連携、保護者や関係者との情報共有の実践について学んでいく。</p>		
到達目標	<p>1) 発達障害の二次障害に対して適切に理解できる。 2) 発達障害の二次障害に対する、具体的な支援の実践についてのイメージができる。</p>		
受講者への事前連絡事項	適宜プリントを配布する。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。